

企画書評価基準

「サステナビリティ法定開示等に係るコンサルティング業務の委託」

株式会社ゆうちょ銀行
経営企画部
サステナビリティ推進室

本評価基準については、「サステナビリティ法定開示等に係るコンサルティング業務の委託」の仕様書等に基づいて定めたものであり、評価に当たっては以下により行う。

- 1 評価項目
評価項目は、下表に定める項目とする。
- 2 得点配分
得点配分は下表に定めるとおりとし、評価項目について有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高300点を付与する。
- 3 取引先の決定方法
公募文のとおり。
- 4 評価観点
評価観点は下表に定めるとおりとし、これに基づき加点を与える。

企画書評価基準表

評価項目		評価観点	配点
スケジュール		期間中にタスクが完了できるよう、緻密で具体的なスケジュールを策定できていること。	10
専門知識・実施体制		サステナビリティ法定開示・保証等に係るコンサルティング業務の委託に関する高度な知識、実績を保有し、タスクに取り組む上で万全な体制であること。	20
当行評価		SSBJ 基準（日本版 IFRS S1/S2 基準）の公開草案等を踏まえ、当行の課題について具体的な内容で記述されていること。	20
具体的支援内容	GAP 分析・課題抽出に係る支援	現状の当行の管理態勢と SSBJ 基準※1 で求められる管理態勢との GAP 分析に必要となる分析用様式を提供する内容となっていること。また、当行が検討・記入した GAP 分析結果に対するレビュー・助言等の支援を行う内容となっていること。助言等の支援については、当行のビジネスモデル、SSBJ 基準に係る業界の議論状況、他行状況を踏まえたものを予定している。 ※1 2024 年 3 月 29 日にサステナビリティ基準委員会（SSBJ）より公表された公開草案	50
	サステナビリティ法定開示に係る支援	課題の優先順位付け・対応の方向性検討に係る支援 前述の GAP 分析の結果、抽出された課題※2 に対する優先順位付け・対応の方向性について、当行の検討結果に対するレビュー・助言等の支援を行う内容となっていること。助言等の支援については、当行のビジネスモデル、SSBJ 基準に係る業界の議論状況を踏まえた上で、当行が SSBJ 基準を満たすために必要となる対応を助言するものとするが、当行に求められる水準と比較して過度な対応とならないように配慮する内容となっていること。また、今後の対応時期及び対応時期を踏まえたロードマップ作成に対する助言等を行う内容となっていること。 ※2 想定される課題の例 リスクと機会の整理プロセス、子会社等の算定対象及び計算方法の整理、情報収集プロセスの正確性・効率性の検証、開示早期化のためのプロセス構築、Scope3 カテゴリの開示範囲に係る検討、資本投下金額の算定方法、保証要求水準を満たす投融資先 GHG 排出量の計算・開示方法、財務的影響の開示、バリューチェーンの範囲、ビジネスモデル及びバリューチェーンに与える影響等。	50
	マテリアリティ分析に係る支援	当行のマテリアリティ（重要課題）の見直しに関して、当行が実施する社内ヒアリングの内容検討、中期経営計画・統合報告向けの GRI 基準の分析、SSBJ 基準との関係性の分析について、必要な助言等の支援を行う内容となっていること。	80
見積額		仕様書の要件を満たした上で、コスト面での工夫がなされているか（見積書は費用の内訳等を詳細に記載のこと）。	60
その他		その他、特に有益となる提案を評価する。	10
合計			300